



## 9月定例議会

|                    |    |
|--------------------|----|
| 9月定例議会報告……………      | 2  |
| 議案審議採決結果……………      | 3  |
| 議員提出議案……………        | 4  |
| 各常任委員会決算報告……………    | 5  |
| 各常任委員会視察研修報告……………  | 7  |
| 和水町議会だよりアンケート…………… | 10 |
| よりよい町づくりのために！一般質問  | 11 |



Vol. **74**

# 議会だより



2025.11.1 発行

# 9月議会議案審議

## 採決結果 町長提出議案一覧

| 議案番号   | 区 分  | 議 案 名                                                   | 審議採決の結果 |
|--------|------|---------------------------------------------------------|---------|
| 承認第3号  | 専 決  | 専決処分の承認について<br>(和水町報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例)            | 承 認     |
| 承認第4号  | 専 決  | 専決処分の承認について(令和7年度 和水町一般会計補正予算(第2号))                     | 承 認     |
| 議案第54号 | 条 例  | 和水町一般職員の育児休業等に関する条例及び和水町病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について | 原案可決    |
| 議案第55号 | 条 例  | 和水町議会議員及び和水町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について            | 原案可決    |
| 議案第56号 | 条 例  | 和水町デイサービスセンター設置及び管理に関する条例の廃止について                        | 原案可決    |
| 議案第57号 | 補正予算 | 令和7年度 和水町一般会計補正予算 (第3号)                                 | 原案可決    |
| 議案第58号 | 補正予算 | 令和7年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算 (第2号)                           | 原案可決    |
| 議案第59号 | 補正予算 | 令和7年度 和水町介護保険事業会計補正予算 (第1号)                             | 原案可決    |
| 議案第60号 | 補正予算 | 令和7年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算 (第1号)                        | 原案可決    |
| 議案第61号 | 補正予算 | 令和7年度 和水町後期高齢者医療事業会計補正予算 (第2号)                          | 原案可決    |
| 議案第62号 | 補正予算 | 令和7年度 和水町下水道事業会計補正予算 (第2号)                              | 原案可決    |
| 議案第63号 | 補正予算 | 令和7年度 和水町一般会計補正予算 (第4号)                                 | 原案可決    |
| 認定第1号  | 決 算  | 令和6年度 和水町一般会計歳入歳出決算                                     | 認 定     |
| 認定第2号  | 決 算  | 令和6年度 和水町国民健康保険事業会計歳入歳出決算                               | 認 定     |
| 認定第3号  | 決 算  | 令和6年度 和水町介護保険事業会計歳入歳出決算                                 | 認 定     |
| 認定第4号  | 決 算  | 令和6年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計歳入歳出決算                            | 認 定     |
| 認定第5号  | 決 算  | 令和6年度 和水町春富財産区特別会計歳入歳出決算                                | 認 定     |
| 認定第6号  | 決 算  | 令和6年度 和水町後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算                              | 認 定     |
| 認定第7号  | 決 算  | 令和6年度 和水町簡易水道事業会計決算                                     | 認 定     |
| 認定第8号  | 決 算  | 令和6年度 和水町下水道事業会計決算                                      | 認 定     |
| 認定第9号  | 決 算  | 令和6年度 和水町病院事業会計決算                                       | 認 定     |
| 報告第4号  | 報 告  | 令和6年度 決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について                         | 報 告     |

### 【議員提出議案一覧】

| 議案番号  | 区 分 | 議 案 名                | 審議採決の結果 |
|-------|-----|----------------------|---------|
| 発議第1号 | その他 | 地域公共交通検討特別委員会の設置について | 原案可決    |

## 9月定例会賛否一覧表

賛否が分かれた議案だけを掲載  
○は賛成 ×は反対 ーは欠席

| 議 案   |     |                     | 議員名  |      |      |      |     |      |      |      |      |      |       |
|-------|-----|---------------------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|-------|
|       |     |                     | 亀崎清貴 | 千々岩繁 | 木原泰代 | 荒木宏太 | 白木淳 | 齊木幸男 | 竹下周三 | 秋丸要一 | 笹淵賢吾 | 坂本敏彦 | 高木洋一郎 |
| 認定第1号 | 決 算 | 令和6年度 和水町一般会計歳入歳出決算 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ×    | ○    | ※     |

※議長は可否同数または特別議決の時以外表決に参加しません。 【討論】 反対 笹淵賢吾 議員  
討論の内容は4ページをご覧ください。

## 令和7年度 一般会計補正予算

### 5億3,237万7千円を追加!!

# 総額 105億8,088万6千円に

令和7年

## 9月

## 定例議会 報告

9月定例会は9月3日～12日までの10日間の会期で開催され、令和7年度補正予算などの22議案（専決2件、条例3件、補正予算7件、決算9件、その他1件）が上程され、それぞれ可決・認定・承認された。  
一般質問は、9月4日・5日の2日間11名中8名の議員が行った。

### 一般会計補正予算の主な内容

| 課       | 事 業 名                                             | 補正金額                                       | 内 容                                                                                               |
|---------|---------------------------------------------------|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 総務課     | 財政管理事務経費<br>国際交流事業                                | 1億1,045万9千円<br>239万8千円                     | 財政調整基金、減債基金への積立金<br>台湾九如郷20名の訪問団受け入れ経費                                                            |
| まちづくり課  | 定住促進事業<br><br>企画事務経費<br><br>商工総務事務経費              | 368万8千円<br><br>3億210万4千円<br><br>585万円      | 空き家バンク活用による不用品撤去(3件)、改修工事等(3件)<br>学校給食補助金の不用額とふるさと応援寄付金を子育て支援基金へ積立金<br>プレミアム付(30%)商品券事業           |
| DX行政推進課 | ネットワーク管理業務                                        | 498万6千円                                    | 第5次LGWAN移行による委託料                                                                                  |
| 農林振興課   | 有害鳥獣被害対策事業<br>林道施設災害復旧事業                          | 750万円<br>644万円                             | 有害鳥獣被害対策補助金(町単独)<br>令和7年8月豪雨により被災した蜻浦林道復旧事業測量設計業務                                                 |
| 建設課     | 町道整備事業<br>町急傾斜地崩壊防止事業<br>農地等災害復旧事業<br><br>土木費補助事業 | 2,200万円<br>2,120万円<br>310万円<br><br>1,436万円 | 町道中路石場線改良工事追加費用<br>令和7年6月豪雨により崩壊した法面工事<br>令和7年6月豪雨により被災した農業用施設、農地の復旧費用<br>令和7年8月豪雨により被災した小災害復旧事業費 |

### 特別会計補正予算

| 会計名           | 補正額     | 補正後の額        |
|---------------|---------|--------------|
| 国民健康保険事業会計    | 440千円   | 13億1,570万円   |
| 介護保険事業会計      | 106万6千円 | 14億8,601万4千円 |
| 特別養護老人ホーム事業会計 | 96万6千円  | 17億767万2千円   |
| 後期高齢者医療事業会計   | 243万円   | 2億655万6千円    |

### 公営企業会計補正予算

| 会計名     |     |    | 補正額        | 補正後の額       |
|---------|-----|----|------------|-------------|
| 下水道事業会計 | 収益的 | 収入 | 362万7千円    | 2億803万1千円   |
|         |     | 支出 | 0千円        | 1億8,239万9千円 |
|         | 資本的 | 収入 | △1,290万3千円 | 1億7,834万3千円 |
|         |     | 支出 | 648万7千円    | 2億2,514万4千円 |

※令和7年8月1日発行の「議会だより73号」2ページにおいて、文章中に誤りがありました。  
訂正箇所： 令和7年度一般会計補正予算  
保育士の町内保育所への就職支援金 誤) 500万円 正) 50万円  
深くお詫び申し上げますとともに、ここに訂正させていただきます。

委員長 秋丸 要一

9月8日・9日に、総務文教常任委員6名で資料等をもとに担当課長等の説明を求め審査を行いました。審査の結果、認定第1号一般会計、認定第2号国民健康保険事業会計、認定第5号春富財産区特別会計、認定第6号後期高齢者医療事業会計の4件、いずれも賛成多数により認定しました。各課の審査内容について報告します。

総務課

一般会計歳入決算額 104億6,119万円  
歳出決算額 102億143万円  
実質収支金額 2億2,091万円  
歳入の前年比15%増、歳出の前年比は18.4%増。歳入の構成比は地方交付税が全体の33%を占め、町税は8.9%である。自主財源の割合は39.9%。総務費の決算額は34億9736万円で全体の34.2%。総務課が所轄する19事業の決算額は27億1,387万円になる。  
①国際交流事務経費 357万円  
②防犯カメラ設置 290万円  
③埋め込み型耐震性貯水槽設置等 2,627万円(2基)  
④公債費 9億5,155万円(利子分2,914万円含む)

まちづくり課

決算総額 27億1,312万円  
①地方バス路線維持補助2,796万円 342万円増  
②新築住宅みらい支援補助1,970万円 22件 73人増加傾向  
③わくわく子育て応援金3,715万円 (出生46人1,680万円、入学199人2,035万円)  
④移住定住施策を利用して町外から移住した人 22世帯46名  
⑤おでかけ交通費(あいのりくん) 2,620万円  
⑥ブランディング推進事業2,442万円  
R6年度のふるさと納税寄付金19億1,486万円。経費を差引残額8億7,607万円を基金に積み立てた。  
●DX推進事業の経費は高額だが適正なのか  
●路線バスの必要性和バス利用の利便性向上について検討

税務課

町税収納額は9億3,994万円。前年比3,704万円3.8%減。一般会計歳入総額の9%を占めている。  
歳出 1億7,810万円  
①定額減税に係る調整給付金7,974万円 対象者3,282名

学校教育課

歳入 1,088万円 前年比3,133万円、74%減  
①国庫支出金784万円 前年比3,281万円、80%減  
歳出 5億5,832万円 前年比5,559万円、11%増  
①一般事務費444万円 よむYOMUワークシートの利用、各校の複合機更新  
②小学校体育館空調設備1億827万円  
③小学校スクールバス費用5,312万円  
④菊水中学校排水施設整備工事1,026万円  
⑤学校給食補助金3,520万円 前年比320万円、10%増  
⑥共同調理場の事務・運用経費9,250万円  
●菊水小学校のネットワーク調査を受けた改修は、どのように考えているのか。  
●障がいのある児童、生徒の送迎に介護タクシーを利用できないか。

社会教育課

歳入 2,117万円  
歳出 5億186万円。前年比6,797万円15.6%増  
①塚坊主古墳復旧工事などの災害復旧事業費 1,221万円  
②金栗四三銅像制作費 877万円  
③町体育館空調設備 2億1,948万円  
④スカイドームトレーニングルーム空調設備更新 375万円  
●グラウンドの整備体制の強化に増額予算を要望。  
●文化財説明案内看板の設置箇所の見直しや老朽化した看板の更新は進んでいるか。  
●ペーロン関連の管理維持について、今後の方針は。

住民環境課

歳出総額 7億1,945万円  
前年比6%、4,122万円増  
戸籍に振り仮名記載のためのシステム改修費 1,161万円  
後期高齢者保険事業の一般会計への移管 1,363万円  
清掃施設の建設費負担金 2,184万円  
①マイナンバーカードの取得推進 711万円、保有率79%  
②清掃にかかる一部事務組合負担金 2億2,038万円  
③ごみ収集運搬業務委託 3,663万円  
●後期高齢者の人間ドック受診費用助成はできないか。

地域振興課

歳出 2,209万円  
①専用水道事業費266万円 (緊急通報装置の導入ほか169万円増)  
②子育てひろば事業費729万円 利用者は減少  
●子育てに関する受付等について、本庁との連携を。

発議第1号 地域公共交通検討特別委員会の設置について

追加日程で議員発議があり、地域公共交通検討特別委員会設置の議案を和水町議会会議規則第14条第1項及び第2項の規定により提出され、賛成多数により可決されました。

提出者 荒木宏太議員

賛成者 秋丸要一議員 齊木幸男議員

提案理由

昨今の町内における地方バス路線の減少により、通学、通院、買い物など不便がしいられ、地域公共交通の改善が望まれている状況である。  
和水町地域公共交通計画においては、アンケート結果で「町内を周遊できる新たな公共交通」を望む声が全体のうち多くを占める結果であった。

又、子ども議会では、通学手段がない為、高等学校進学を選択肢が狭まるとの声もあった。まさに地域公共交通網は喫緊の課題である。このことから町内の地域公共交通の状況、コストパフォーマンス、又は将来にわたる地域公共交通の使いやすさ、サービス等の最適化を考慮し、検討する必要がある。

地域公共交通検討特別委員会

委員長 亀崎清貴  
副委員長 荒木宏太  
委員 坂本敏彦  
〃 笹渕賢吾  
〃 秋丸要一  
〃 竹下周三  
〃 齊木幸男  
〃 白木淳  
〃 木原泰代  
〃 千々岩繁

認定第1号 令和6年度和水町一般会計歳入歳出決算に対する反対討論

笹渕賢吾

令和6年度一般職員は161人、令和5年度から7人減少、会計年度任用職員は68.8人、一般職員は全体の約70%。正職員の減少で残業が夜の10時から11時頃まで続いているところもある。職員のストレスチェックの結果、職員の6人に1人がストレス等を抱えていて休職を余儀なくされている人もいる。

日本の経済社会では会社の利益中心、仕事中心となり長時間労働は健康や命にも影響し人間の自由時間が奪われている。仕事を定時に終われば家族との時間や趣味、人との交流など自由に時間を使うことができる。生まれてきて仕

事とともに自由に生きる時間は人生にとってとても大切である。町民サービスの向上と正職員の健康を守るために正職員を増やすべきである。

二つ目は国の進めるデジタル関連の交付金や補助金は増加しているが町民の命やくらし、一次産業に力を入れることが重要である。

三つ目はマイナ保険証の不具合など個人情報にかかわる問題でトラブルも発生している。これまでの紙の保険証を続けるよう求めて反対討論とする。

委員長 木原 泰代

7月10日・11日に、大分県杵築市の「子どもの居場所づくり」、竹田市の「中山間地域の農業経営」について研修を行いました。

## 大分県杵築市「子どもの居場所b & gきつき」

- 杵築市概況：面積280.8km<sup>2</sup>、人口26,033人、世帯数13,112世帯、高齢化率39.59%、年間出生数84人、年間死亡数485人、小学校10校、中学校3校、認定子ども園10園、幼稚園2園、事業所内保育所1園。
- 「b & g きつき」概況：2019年4月開設。開設費用と初年度運営費を公益財団法人B & G財団が支援。開設4年目から杵築市が運営し、「NPO 法人子どもサポートにつこ・にこ」に委託。
- 木造平屋建、建築面積134.71m<sup>2</sup>、延床面積130m<sup>2</sup>。
- 開設時間：平日16時～21時（長期休暇中は10時からの開館）
- 対象児童：生活困窮世帯、問題を抱える家庭、市内全域の小学生（その兄弟児）
- 実施内容：学習支援、基本的な生活習慣の獲得、体験活動、アントレ教育
- 定員：1日あたり20名程度、利用料金は1回300円（免除あり）
- 職員：運営スタッフ3～4名、調理スタッフ2名、学習

支援スタッフ2～3名  
 成果：児童の自己肯定感が高まり、自分や他者を思いやれる。たっぷり食べられる。生活習慣の定着。不登校児の受け皿にもなっている。  
 予算：児童育成支援拠点事業14,806,600円の委託料と利用料金9,600円で運営。企業や農家からの寄付等もある。  
 課題：予算面・補助金の継続性、発達障害児、思春期の子どもへの対応。

本町の子ども達を取り巻く実態を的確に捉え、検討を深める必要がある事業であると再認識した。



## 大分県竹田市「田んぼ屋 のじり」

- 竹田市萩地域概況：竹田市西部の阿蘇外輪山の台地にある準高冷地（標高400～650m）準高冷地の特徴を活かしたトマトや路地野菜が盛んで、早くから基盤整備に取り組み、水稲栽培は地域農業の基幹となっている。
- 経営概況：平成7年に3haから本格的に水稲栽培を開始。平成21年に経営を株式会社化し、平成23年常時雇用を開始。地域の農業者が高齢で水稲栽培を依頼される形で受託し、農地の集約と大規模化を実現。令和7年の水稲栽培面積は105ha。一番遠い水田は30km程離れており水の管理に苦慮されている。県や関係機関の支援を受けながらスマート農業の実証実験にも参加。ドローンやICT機器を活用した農作業の効率化により省力化と安定的な経営を図っている。
- 経営内容：主食米、飼料米の生産、各種農作業の受託、主食米、飼料米の集荷・販売、稲わらの販売、園芸、椎茸、大麦若葉の生産。

経営改善に向けた取り組み：作付け品種等の検討、新規品目導入による経営の多角化、冬期作業の充実、スマート農業関連で経営・栽培管理システムの導入でアグリノートの導入、機械の有効活用、資材の検討日本人8人、外国人9人を雇用。

中山間地域の傾斜地農業においても、農地の集約と大規模経営を進め、耕作放棄地の解消に結びつけている点に大きな感銘を受けた。  
 スマート農業や法人経営の導入支援、意欲ある人材の発掘・育成等人と技術の両面を支えることが大切であると感じた。



委員長 木原 泰代

9月8日・9日に、常任委員5名の出席のもと、所管の福祉課、保健子ども課、神尾保育園、農業委員会、農林振興課、建設課、町立病院、特別養護老人ホームきくすい荘の課長等に説明を求め、慎重に審査を行い、当委員会付託の認定第1、3、4、7、8、9号につきまして、全会一致で認定しました。決算状況の一部を報告します。

### 福祉課

物価高騰対応重点支援給付金6,980万円、高齢者福祉費3億1,678万円、障害者総合支援給付経費3億5,260万円。  
 介護保険事業会計は、実質収支2億8,070万円の黒字。

**意見** 老人クラブの活性化支援に加え、会員以外の高齢者対策を望む。  
 更に介護予防に努め、介護保険事業の安定運営を望む。

### 特別養護老人ホームきくすい荘

歳出決算額6億6,686万円。加算取得による収入増はあったものの、デイサービスの利用者減等で一般会計より8,093万円繰入。きくすい荘建て替えについて、実施設計と敷地造成工事が完了。

**意見** 経営努力を重ねながら、利用者の安心・安全な生活の場となるよう取り組んでほしい。

### 農業委員会

歳出総額3,259万円。農業委員会の事務経費と農地集積・集約事業等に支出。

**意見** 令和6年度実施の農地と非農地の調査は、農地の保全・活用に重要な取り組みと評価。

### 農林振興課

農業、林業、畜産、水産業費2億4,750万円。中山間地域直接支払事業で54集落に5,126万円、多面的機能支払交付金事業1,783万円、有害鳥獣捕獲対策、防護対策等2,048万円。

**意見** 有害鳥獣対策の更なる充実が必要。  
 森林環境譲与税を積極的に活用し森林、竹林の整備事業の充実を期待。

### 建設課

道路、河川、橋、町営住宅等の整備・管理費10億936万円。  
 各行政区への土木費補助金2,314万円、小災害復旧補助金520万円。  
 簡易水道事業会計・下水道会計については、良好な経営状態。

**意見** 有利な補助事業を活用し、安心・安全な環境整備に努めてほしい。  
 適正な価格で工事ができるよう更に精査して欲しい。

### 和永町立病院

純収益9億3,651万円、総費用10億9,909万円、1億6,258万円の赤字決算。（リハビリや訪問診療に重点的に取り組まれたが、医業収益の増加より物価高騰等による費用の増加・3階病棟のスプリンクラー工事に伴う入院制限が影響）

**意見** 病床利用率の向上、併設の健康管理センター、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション事業の充実で自治体病院としての使命を果たしてほしい。医師確保が急務。

議会運営委員長 竹下 周三

9月24日～26日に愛媛県伊予市の「移住定住対策」、鬼北町の「町立病院の公設民営」「有害鳥獣対策」について研修しました。

### 愛媛県伊予市(人口:34,895人)

#### 《移住定住対策》

「人を増やすこと」だけを目標に置くのではなく、地域住民と移住者が共に暮らし、助け合い、未来を担っていく「幸せな地域づくり」を目指す。

- ①あらゆる質問・疑問にお答えする専用の移住定住ワンストップ窓口の設置。
- ②年9回程度フェアに出展し、移住相談に対応して移住検討者の傾向を把握する。令和6年度は移住

件数60件、移住者数97名。

- ③就農に向けた研修支援、農地確保、資金活用等の相談対応等、相談窓口を一本化して常設機関で就農就業支援を行う。



### 愛媛県鬼北町(人口:8,950人)

#### 《町立病院の公設民営》

【鬼北町立北宇和病院】人口過疎高齢化地域である。元来、県立病院であったが、平成18年に町立病院(公設民営)として引き継いだ病院である。  
病床数:一般病床:55床、療養病床:44床  
◇病院の基本理念

「誠意・努力・信頼」地域のみなさんとのふれあいを大切にし、信頼される病院を目指す。

#### ◇公立病院としての役割

一般診療のみならず各関係機関、医療機関と連携し、地域の医療水準を守る役割を担う。

※病院運営のために、年間約2億円程度を一般会計から支出している。

医療従事者不足、ニーズの変化、在宅医療の増加等対策の為、地域の病院を中心に勉強会を重ねて、今後の方針を検討されている。

#### 《有害鳥獣被害対策》

年間2,000頭以上捕獲し、被害額はイノシシ約800万円、ニホンジカ約670万円、ニホンザル約1,000万円であり、多岐に渡る苦勞が見受けられる。ICTを活用した檻も積極的に進められている。

#### ①鬼北町有害鳥獣処理施設(減容化施設)

持ち込まれた有害鳥獣を特殊な装置の中に入れて微生物の力で分解、乾燥し、減容化後の廃棄物については一般廃棄物として処理。

|      |           |       |         |
|------|-----------|-------|---------|
| 整備年度 | 令和3年度     | 冷 蔵 庫 | 268万円   |
| 総事業費 | 1億3,910万円 | 処理機械  | 9,801万円 |
| 建 屋  | 3,841万円   | 処理能力  | 1日/1t   |

本町でも、近隣市町と共同処理施設の設置検討の余地があると考える。

#### ②鬼北町ジビエペットフード加工処理施設

加工処理施設としては日本最大級で、HACCPに準じて設計し、遠隔監視システムによる24時間受付を実施し、施設内の血液等の汚水は処理槽を通して排出する。

|      |           |       |                            |
|------|-----------|-------|----------------------------|
| 整備年度 | 令和4年、令和5年 | 冷凍施設  | 3,977万円                    |
| 総事業費 | 3億8,517万円 | 製 造 品 | ドライフード<br>ジャーキー<br>ミンチ生肉など |
| 建 屋  | 2億3,815万円 |       |                            |
| 処理機械 | 3,300万円   |       |                            |
| 加工機械 | 7,425万円   | 対象鳥獣  | イノシシ・シカ                    |

設立経費、維持管理経費と売り上げの観点から課題も多いと感じた。



委員長 秋丸 要一

7月17日・18日に、宮崎県川南町と新富町で移住定住、空き家対策、ふるさと納税の政策について研修を行いました。

### 宮崎県川南町

県の中央部に位置し、人口14,000人で農業、漁業、畜産業が盛んな町です。戦後間もないころ国の開拓事業により、大勢の移住者が、全国より押し寄せ人口も増加し、川南合衆国と呼ばれ3大開拓地の一つとあげられている。川南は多様性を認め、フロンティアスピリットがあふれている移住の町といえる。また、役場を中心とした本通り周辺には約150の店舗があり、地域通貨を採用して商業の活性化を推進している。

#### ①移住定住政策について

移住者数は、過去9年間で197世帯351名。

移住者に対する行政の支援体制は、その道のプロを移住支援アドバイザーとして設置する。情報発信、移住相談会に出展、オンライン相談、お試し住宅の体験などで移住に繋げる。

移住者の住宅確保は、空き家バンクや民間物件を紹介している。

#### ②空き家対策について

空き家対策の取り組みについては、宮崎県宅地建物取引業協会と包括連携協定を締結している。

空き家バンク登録数需要と供給バランスについては、登録物件累計35件、うち契約成立件数21件、空き家バンク利用登録者数累計97名うち成立件数21件21.6%。

町内の空き家数は、令和5年1,270戸18%、県外から川南町へ移住した方に、最大15万円を助成。

#### ③ふるさと納税について

令和6年度、全国37位、宮崎県3位の49億円。主な返礼品は約70%が畜産品。



### 宮崎県新富町

宮崎県のほぼ中央部の沿岸地帯に位置し、人口16,000人、早期水稲、施設園芸が盛んであり、サ



新富町研修資料より引用

トウキビ、茶などが栽培され、肉牛、養鶏、酪農などの畜産も盛んな町です。他にも新田原古墳群や新田神楽など歴史の色濃いふるさとでもあります。また昭和32年に航空自衛隊新田原基地が建設。活性化エリアでは、人が集うサッカーの町を目指しています。

#### ①移住定住政策について

関係交流人口を拡大させる公共事業として3つの活性化エリアを設定。サッカースタジアムを活用した地域活性化ゾーン。農業の試験研究を行う農業生産振興ゾーン。商業活性化を目指す企業誘致ゾーンに分割。地域の活性化の拠点とする計画の進行。

プロサッカー2チームを誘致し、サッカースタジアムやフットボールセンターを活用し、スポーツ

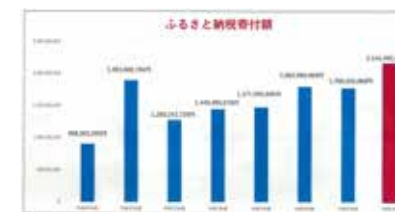
観光振興に地域おこし協力隊32名を配置。また農林水産省の補助金を活用して廃校を宿泊施設に改修するなど定住促進を図っている。

旧観光協会を法人化した通称「こゆ財団」によるふるさと納税の受託運営と起業家育成を柱とした、稼いで人材育成に再投資する手法で、経済の創出に取り組む。その結果、移住者や起業家が増加。空き家再生や事業雇用の創出の成果が認められ2018年、国の地方創生優良事例に選出された。

#### ②ふるさと納税について

2025年7月31日総務省発表。令和6年度全国125位、宮崎県6位の21億円。

主な返礼品は約50%がうなぎ。ライチやメロンなどの果物類が30%、その他肉、野菜類が人気品。



新富町研修資料より引用



千々岩 繁議員



## 高齢者の交通支援について(高齢者等外出支援タクシー・あいのりくん) 地域猫活動と人と動物が共生するまちづくりについて

**千々岩** 高齢者等外出支援タクシーの現状は。

**町長** 該当される323名の方に案内通知を出しているが、29名の申請に留まっている。

**千々岩** 利用促進については。

**福祉課長** 定期的に紹介を継続していきたい。

**千々岩** 高齢者等外出支援タクシーやあいのりくんで補えない部分をケアバスやスクールバスの空き時間で活用できないか。



**まちづくり課長** 高齢者や過疎化、交通弱者の増加等による「交通」「福祉」の課題解決のため今年の11月から来年1月の3ヶ月間、町立病院のケアバスの運行時間外を有効活用し、高齢者の外出促進につながる実証実験を計画している。

**千々岩** 飼い主のいないと思われる猫が、家の周りに来たとき、捕獲し山などに放す行為をよく耳に

する。猫の捕獲自体も違法と聞くが規定はあるか。

**住民環境課長** 野良犬は狂犬病予防法により捕獲が認められている。イノシシなどの有害鳥獣は鳥獣保護管理法に基づいた捕獲許可により、捕獲や駆除を行うことができる。猫については、動物愛護管理法に「愛護動物をみだりに傷つけたり殺したものは5年以下の懲役または500万円以下の罰金」、捕獲して山に放すという行為は、一般に「遺棄」とみなされ、動物愛護管理法違反となる。

**千々岩** 動物との共生に関する条例を検討できないか。

**住民環境課長** 猫に関しては大きな社会問題と捉えている。広報紙やホームページを活用し啓発活動に努めたい。条例制定に関しては、県や近隣自治体の動向を見ながら検討したい。



木原 泰代議員



## 不登校児童生徒の支援の現状と今後の方向性について

**木原** 本町不登校児童生徒の現状及び傾向は。

**町長** 7月末現在で、不登校児童生徒は5名、不登校傾向にある児童生徒は4名。不登校者数の割合を全国と比較すると少ない傾向にある。

**教育長** 不登校の原因は様々。状況把握に努め、ニーズに応じた支援や多様な学びができるよう環境の整備に努めたい。

**木原** 支援の現状と課題、今後の対応方針は。

**町長** 担任、養護教諭、管理職、学習支援員、スクールカウンセラー等が連携して対応。昨年9月教育支援センター「クローバーなごみ」を福祉センター内に設置し支援を開始。登録7名で、週1回学習支援員が、適応指導、学習指導、教育相談などを実施。より多くの不登校児童生徒の学びの場が確保できるよう検討が必要。

**木原** 登録者の出席状況はどうか。

**学校教育課長** 出席者は毎回2～3名。

**木原** 「開室の回数を増やしてほしい。」という声があるが。

**学校教育課長** 出席状況やアンケートを実施しながら検討していく。

**木原** 不登校への関わりについて研修する場は。

**学校教育課長** 県や協議会研修会への参加、町や学校単位でも研修を実施。

**木原** 保護者の支援が大切だと思うが。

**学校教育課長** 電話や家庭訪問を行い、状況把握に努めている。必要に応じ外部専門家や保健子ども課と連携した支援を行っている。

### その他の質問

乳幼児健診の充実について、関係機関と連携し、更に充実するよう取り組んでいくとの答弁があった。

## 令和7年度 町村議会正副委員長研修会

7月22日(火)にオンライン形式で開催された。テーマは「議会改革となり手不足 議員のなり手不足への対応策」と題して関東学院大学法学部教授 牧瀬 稔 氏より講演をいただいた。内容としては、議会改革とは何か・地方議員のなり手不足。要点をまとめると、「定数削減の議会改革は結果として、なり手不足を助長している側面がある。」と指摘があった。なり手不足解消に向けて、大卒の初任給より低い報酬の拡充・手当の拡充。議会基本条例の動向として、2006年栗山町議会が全国で初めて制定し、現在では1,021議会が制定している。大半の自治体がコピー・ペースト状態。意味のないアクセサリ条例と揶揄する専門家も多い。研修を終え、地方の町村議会は益々なり手不足が加速する。能力の高い議員を当選させるべきである。自治体と議会の目的は、住民の福祉の増進である。町民の幸福感を増やすことが私たちの使命であると改めて痛感した。

千々岩 繁



## 和水町議会だよりのアンケートへのご協力をお願いします

和水町議会では、年4回「議会だより」を発行しています。より良い広報紙を作成するため、アンケートを行いますので、ご協力をお願いします。皆様からのご意見等を心よりお待ちしております。

※QRコード読み取り、メール送信、郵送等どんな様式でも回答していただけます。

郵送の場合、下記点線を切り取ってご使用ください。

送付先 【郵 送】 〒865-0192 和水町江田3886番地 和水町議会事務局 宛

【メール】 n-gikai@town.nagomi.lg.jp



キリトリ線

議会だよりをご覧いただきありがとうございます。

今後の紙面づくりの参考とするため、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。

質問は全部で6問あります。

Q1. 年齢を教えてください。

☐10代 ☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代 ☐70代 ☐80代以上

Q2. 議会だよりを読んでいますか。

☐毎回読む ☐関心のあるところだけ読む ☐たまに読む ☐読まない

Q3. 議会だよりの内容は分かりやすいですか。

☐分かりやすい ☐分かりにくい ☐どちらでもない

Q4. 議会だよりに関する感想やご意見等がありましたら、ご記入ください。

( )

Q5. 議会の動画配信を視聴したことがありますか。

☐視聴したことがある ☐視聴したことがないが、視聴してみたい  
☐視聴したことがなく、これからも視聴する予定はない

Q6. 議会中継があれば視聴したいですか。

☐視聴したい ☐視聴したいとは思わない ☐どちらでもよい

キリトリ線



斉木 幸男議員



## 旧南小学校跡地の契約解除、町長の政治手法が力不足ではなかったか 防災に関するDXの活用は 令和7年度のLPガス支援金は

**斉木** 旧南小学校跡地の契約解除後、どのような作業が行われているのか。今後のスケジュール感は。

**まちづくり課長** 12月定例会で報告できればと考える。

**斉木** 旧南小学校の活用は実現できなかった。これは町長の力不足ではなかったか。町長の政治手法が不足していたのではないかと町民は言っている。町長自身はどう思っているのか。

**町長** 一部の反対運動があり契約の解除がなされた。反対運動が起きたのは、やはり、全ての皆様に説明が行き届いてなかったことも要因の一つであると認識してい



旧南小学校。本契約は令和3年12月22日、4年後の令和7年6月4日に契約解除申出。

る。今後の活用を進める際においても、町民の皆様にきちんと説明を行い、進めていく必要があると認識している。

**斉木** 住民が受入れたいと考える企業を誘致するのが当然。学校跡地活用で住民自治をないがしろにして企業優先の考えで企業誘致を行っていくのか。

**まちづくり課長** そのような考えは無い。

**斉木** DXの活用で災害時の職員の負担軽減や人員の削減はできるのか。

**デジタル行政推進課長** 職員の人数は変わらないが、避難者や職員の負担は軽減される。

**斉木** 令和7年度のLPガス支援金は。

**町長** 臨時交付金で令和5年度と令和6年度に実施した。9月定例会に臨時交付金を活用した町商工会のプレミアム商品券事業の予算を上程している。



竹下 周三議員



## 菊水ロマン館、これからどうなる 企業誘致の必要性

**竹下** 菊水ロマン館に職員の派遣等に関する条例改正が否決されたが、その後の状況は。

**町長** 町の政策と連動し菊水ロマン館を核とした周辺地域一体の産業振興に繋がりたいとの思いから条例改正案を上程したが、細部に渡り詰め切れておらず、否決された。今後、様々な取り組みを展開する。

**竹下** 肥後民家村、菊水ロマン館等、今後の方策は。

**まちづくり課長** 国の伴走支援を頂きながら補助事業を活用して歴史的資源を加えた周遊観光の促進にも取り組み、町と道の駅が一体的に検討し施設等のリニューアルも進める。

**竹下** 農産物や加工品販売の構想は。

**まちづくり課長** (株)食文化様と包括協定を結び、様々なブランディング事業に取り組む。

**竹下** 施設の改革を進める中で館長の勤務体制について(土・日・祭日等)は充実するべきではないか。

**まちづくり課長** 詳細な勤務体制については把握していない。

**竹下** 旧南小学校跡地の今後は。

**まちづくり課長** 契約解除の手続きを進めている。

**竹下** (株)Ring様誘致で、どの様な変化があるか。

**まちづくり課長** 企業等懇話会にも加入頂き、地域活動への貢献も頂いている。

**竹下** 三加和地区ふれあい広場と職員住宅跡地の今後の計画は。

**まちづくり課長** 用地の活用については、今後和水町公有財産取得処分等検討委員会において議論を進める。



笹淵 賢吾議員



## 地球温暖化が進むなか町民の命を守る 気候変動対策を

**笹淵** 温暖化が進み地球沸騰化時代と言われ、高温や集中豪雨等が続き、世界的に温暖化防止対策がとられている。原因と対策は。

**町長** 2015年にフランスのパリで開催された第21回国連気候変動枠組条約締約国会議で2020年以降の温室効果ガス排出のためのパリ協定が採択された。世界の平均気温は産業革命前に比べて人間活動によって約1度上昇し、このままの経済活動が続けば、早ければ2030年には1.5度に上昇し2050年には4度程度の気温上昇が見込まれている。2050年度まで「温室効果ガスの排出量」と「森林などによる吸収量」を均衡させて「実質ゼロ」にすることを目指している。

**笹淵** 今回の豪雨災害を受けて、どこに避難した方が住民にとって安全か、地域住民で話し合い、情報を共有して災害から身を守るためには近くに避難所が必要である。菊水地区では旧南小跡地の一

角に避難所を建設すべきではないか。

**町長** 現在避難所検討部会を立ち上げて町の実情に即して避難所の在り方を検討している。

**笹淵** 高温が続くなか、電池で風を送るファンセットへの補助やハウス栽培の寒冷紗購入への補助など農家の命と健康を守るために補助してはどうか。

**農林振興課長** 国県の補助事業を調査し、今後研究していきたい。

**笹淵** 毎日暑い日が続くが、低所得者や高齢者の方が安心して暮らせるようクーラー設置や電気代を補助してはどうか。

**まちづくり課長** 玉名市などエアコンや冷蔵庫など省エネ家電購入に対して補助金が出されている。他の自治体を参考にして調査研究したい。

**その他の質問**

国の米政策が失敗し変更があるが、中山間地の本町への影響は。

食料自給率向上のための後継者を増やす対策は。



坂本 敏彦議員



## 中学生の海外研修について 町政運営について

**坂本** 和水町中学生海外短期派遣事業が行われたが、その成果と課題、生徒達の反応について問う。

**町長** 菊水中、三加和中の2・3年生10名。台湾南部九如郷の派遣に臨み、文化や風土、住環境の違い等を学んだ。また、九如国民中学の代表生徒12名と英語やジェスチャーを用いての交流、様々な貴重な体験ができたことを認識している。

**教育長** 「貴重な機会を与えてもらった。参加してよかったと感じている。

**坂本** 今後の海外研修の方針について問う。

**町長** 今回初めての取り組みであり、参加した生徒達や保護者の



九如国民中学生との交流

意見を参考にしながら、来年度以降継続して、より一層効果的な事業展開ができるよう努める。

**坂本** 町長が、選挙公約に掲げられた事業や施策について、ご自身の評価を問う。

**町長** 町長就任以来3年4か月が経過した。7つの政策、36の具体策については、町民の皆様のご理解をいただきながら、そのすべてに着手させていただき着実に進捗していると認識している。

**坂本** 和水町の新たな課題について問う。

**町長** 先般、公表された消滅可能性自治体からの脱却や頻発する自然災害に防災体制の強化も課題の一つである。

**坂本** この様な課題のある中で、引き続き、町政を担う気持ちがあるのか。

**町長** まちづくり7つの更なる実現にむけて、引き続き、町政の舵取りを担わせていただきたい。

## 【中学生の職場体験】

9月2日～4日、菊水中学校2年生の2名が役場で職場体験をしました。  
議会では、9月2日に9月定例会の配布資料の作成、傍聴席や議場内の準備等、真剣に取り組んでくれました。



## 議会傍聴をお待ちしています!

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開催され、行政に対する一般質問などが行われます。

定例会日程や一般質問等の詳細は、町のホームページ、議会事務局にお尋ねください。

役場本庁1階ロビー、支所ロビー、中央公民館、三加和公民館でも生中継でご覧になれます。



どなたでも傍聴  
できます。  
お気軽に見に来て  
くださいね。



## 国際交流について 観光人口増加の意気込みを



荒木 宏太議員

**荒木** 中学生短期派遣事業の参加者決定の手順や選考について問う。

**学校教育課長** 募集を行い合計20名で、選考方法については教育委員会で協議し、抽選により10名を決定した。

**荒木** 国際交流事業(大人)の費用負担はどうだったか。

**総務課長** 町長以下、議員2名、職員、民間2名も、業務の立場で、和水町の旅費規程に基づいて旅費を支給している。

**荒木** 中学生は3万円の費用負担をして、大人は費用負担がなしということで、「議員は費用負担しているよね」と声がある、受益者負担についての考えを問う。

**総務課長** 子ども達は、教育局交流で自己負担があることは保護者説明会で納得の上の応募であった。大人たちは、業務の立場で訪問団として旅費規程に基づいている。

**荒木** 箱根駅伝観戦ツアーは費用負担なし、中学生短期派遣事業においては3万円の費用負担があった。この違いの理由は。

**町長** 東京1泊2日と台湾3泊4日では費用が大きく違う、海外ということもあり費用負担を求めた。

**荒木** 公約の観光資源の磨き上げとは、具体的に何だったのか。

**町長** 三加和温泉周辺については昨年度基本構想を策定し、今年度は菊水ロマン館一帯の基本構想に着手予定である。基本構想に基づいてこれから動き出す。

**荒木** 平成4年時は三加和温泉の来客数が33万人、6000万円の黒字だった。観光の振興について今後の意気込みを町長からお聞きしたい。

**町長** 同じ数字に近づけるのは厳しいと思うが、改めて施設のリニューアルを含めた考え方を整理して、お客様に来ていただける施設づくりを頑張りたい。



## 病院の将来のあるべき姿について本格的な議論を加速するべきと考える!



秋丸 要一議員

【きくすい荘運営について】

**秋丸** きくすい荘の過剰人件費の削減は出来たとしても、現在の公務員従事者を役場や病院などで引き受けるとなれば、正職員30名分の給与約2億円以上が過剰人件費となり町の財政圧迫要因にはならないか。町の対応は。

**総務課長** 身分保障で人件費は増加する。徐々に会計年度職員の縮小の必要がある。

**秋丸** 指定管理者は社会福祉法人であり、仮に70名の利用者の全てのサービスを町外の業者に委託したら、町内の医療をはじめ関連業者の収益が損失する可能性がある。町の見解を聞かせて貰いたい。

**特養施設長** 公募要項仕様書にも明記しており特に、町立病院と連携は当然行われると思う。

【町立病院運営について】

**秋丸** 令和6年度の決算では人件費が前年比5,970万円増加している。人件費比率も80.3%と上昇、要因は何か。

**病院事務部長** 給料のベースアップと臨時の医師派遣。

**秋丸** コロナ補助金の約14億3,000万円がなかったら令和6年度は2億3,000万円しか残ってない状況になっている。医業収益力の強化が課題である。今後、10年間でハード事業に要する費用はどれ位見積もっているか。

**病院事務部長** 直近で3階の病床改修。長期的期間の金額は出していない。

**秋丸** 2027年4月の新地域医療構想開始までに病院の一般・療養・精神病床を計約11万床削減する方針で、今年中の決定が見込まれている。正式な通達等はあったか。

**病院事務部長** 正式な通達は来ていない。

**秋丸** 回復期の病床数を49床から41床に削減申請をしていると説明された。有明圏内では、回復期の病床数は不足している中で、削減する理由は何か。

**病院事務部長** 医療構想を先取りした戦略ではない。病床率をアップして、経営安定化のための病院独自の削減。

**秋丸** 病院経営の方向性についてR3年3月15日の議会の答申は、民営化を求めている。それから4年半経過したが、その間、病院経営の方向性について議論、検討されたか。

**病院事務部長** 検討はなされていない。

**秋丸** 審議会の委員の構成や運営体制等の抜本的な見直しを図るのは必要不可欠だ。病院の将来のあるべき姿について本格的な議論を加速するべきだと考える。新たな運営審議検討会等を新設する考えはあるか。

**町長** 中長期的計画検討委員会なるものを立ち上げるのを検討したい。

**秋丸** 病院の将来のあるべき姿について、町長自身の具体的な構想や考えはあるか。

**町長** 個人の考えは申し上げないが、中長期的な計画を立てる必要がある。



## 議会のうごき

ACTION

6月定例会以降の主な行事について報告します。

## 6月

- 10日(火) ◆和水町議会広報調査特別委員会
- 12日(木) ◆第52回和水町古墳祭第38代火巫女御披露目式
- 17日(火) ◆令和7年度和水町防災会議
- 18日(水) ◆第49回和水町観光協会通常総会
- 19日(木) ◆総務文教常任委員会
- 23日(月) ◆道の駅きくすい及び三加和温泉における公園整備事業に伴う公園施設の名称審査委員会
- 25日(水) ◆社会福祉協議会理事会  
◆和水町議会広報調査特別委員会  
◆令和7年度和水町青少年育成町民会議総会
- 26日(木) ◆第11回夏祭り盆踊り大会第1回実行委員会
- 30日(月) ◆和水町議会運営委員会

## 7月

- 8日(火) ◆和水町議会広報調査特別委員会
- 10日(木) ◆玉名郡町村議会議長会定例会
- 10～11日(木)～(金)  
◆厚生建設経済常任委員会視察研修
- 16日(水) ◆和水町議会全員協議会  
◆和水町議会広報調査特別委員会
- 17～18日(木)～(金)  
◆総務文教常任委員会視察研修
- 22日(火) ◆令和7年度町村議会正副委員長研修会
- 25日(金) ◆子ども議会
- 30日(水) ◆第1回和水町振興計画審議会

## 8月

- 1日(金) ◆建友会意見交換会後懇談会
- 4日(月) ◆せきすい斎苑連絡協議会
- 5～8日(火)～(金)  
◆令和7年度台湾屏東県訪問
- 13日(水) ◆玉名郡町村議会議長会臨時会  
◆第11回夏祭り盆踊り大会
- 19日(火) ◆令和7年度玉名八女線道路整備促進期成会総会
- 20日(水) ◆和水町議会運営委員会  
◆令和7年度町村議会正副議長研修会
- 25日(月) ◆矢部谷トンネル促進期成会
- 26日(火) ◆厚生建設経済常任委員会
- 27日(水) ◆菊水分署安全祈願祭
- 29日(金) ◆国際交流協会設立総会

## 9月

- 1日(月) ◆令和7年度和水町道路整備推進委員会総会及び要望式
- 3日(水) ◆なごみAG会温泉宅配出発式  
◆令和7年第3回和水町議会定例会
- 5日(金) ◆和水町議会広報調査特別委員会

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 亀崎 清貴 |
| 副委員長 | 荒木 宏太 |
| 委員   | 笹渕 賢吾 |
| 委員   | 白木 淳  |
| 委員   | 木原 泰代 |
| 委員   | 千々岩 繁 |

## 広報委員

## 表紙の紹介

7月30日(水)になごみ学童クラブと菊水小児童クラブから役場庁舎の見学に来て、普段入ることのない議場に入って、マイクやモニターなどに興味津々でした。

実際に議席にも座ってみて、帰りは「今日は楽しかったー！」などのうれしい声も聞かれました。



## 編集後記



朝夕の風に秋の深まりを感じる頃となりました。今号では、議会の報告に加え、初めての取り組みとして「町民アンケート」を実施しています。まちの未来を考える上で、議会だけの視点では見えないものがあります。だからこそ、皆さんの率直な声を、ぜひ聞かせてください。その一言が、議会の姿勢を変え、町の方を動かすきっかけ

になります。議会は皆さんの暮らしの延長線上にあるもの。もっと近くに感じてもらえるよう、広報紙を通して丁寧に伝えてまいりますので、町民皆様のご協力のほどよろしくお願いたします。

季節の変わり目、どうぞご自愛ください。

広報特別委員会  
委員長 亀崎 清貴

